



### 今年も好評の大堀地区鍋まつり

2月21日、大堀地区公民館前の特設広場を会場に第14回大堀地区鍋まつりが開催され、全15団体が出店し、多くの来場者が訪れました。今回は、例年より巨大な雪の滑り台のほか、ルーレットや雪上カーリングなどのゲームを行い、箸・どんぶりを持参した方に山菜セットをプレゼントするなど、趣向を凝らした内容で行われました。当日は雪の吹き荒れる中ではありましたが、元気に呼び込みを行う子どもたちの声が響き渡り、多種多彩な鍋や催しなど、活気に満ちたまつりとなりました。



### 灯々祭2018 町内外から30名以上が参加し 幻想的な雪ランタンを製作

3月4日、灯々祭2018が開催されました。当日は春を思わせる陽気となり、午前中から多くの方がランタンづくりに訪れ、中には半袖で作業する方もいました。昼にはひっぱりうどん大会が行われ、参加者に振舞われました。また、当日限定でミニFMが開設され、灯々祭の情報を中心にFM放送を行いました。夜には約1,200個のランタンに火が灯され、静寂に包まれた愛宕山を優しく照らしました。

### 地域有志による、大堀駅の美化活動

2月3日、地域の有志が集まり、大堀駅舎の整備を行いました。全国的にも珍しい木造ログハウス風の駅舎をきれいにしようと、大堀地区コミュニティ推進会議が企画し、担当するグループメンバーが集まりました。クモの巣を取り除いたり、鏡やフラワーアレンジメントを飾り付けるなど、きめ細やかな思いやりの行き届いた整備がなされました。駅を利用する中高生などからは、「駅が華やかになってうれしい」という声が聞かれました。



### 東京からも来場！富沢地域雪まつり

2月24・25日、富沢地域雪まつりが開催されました。24日の前夜祭では、特製のランタン約1,000個にロウソクが灯され、雪原に「雪蛍」が飛び交うような演出と、冬空に打ち上げられた大輪の花火に、皆さんうっとり見とれていました。25日の雪まつり当日には、杵でついた餅が振舞われたほか、子どもから大人までが楽しめる企画も多数用意されました。また、すいとん汁・豚汁なども2日間にわたり無料で提供され、500名以上の来場者は思い思いに雪まつりを楽しんでいました。



### ワイルドエドベンチャースクールで 雪国ならではの体験活動

3月3日、前森高原の大場満郎冒険学校において町内小学生12名が参加し、雪国文化体験が行われました。山小屋を目指して荷物を積んだソリを引ながら雪上を歩く北極冒険疑似体験や、雪上カヌー体験など、子どもたちは普段できない体験を笑顔で楽しんでいました。来年度も子どもたちが楽しく学べる体験活動を予定しています。ぜひ、ご参加ください。

### ICTを活用して国際交流

2月20日、向町小学校の6年生がSkype（ビデオ通話）を利用し、オーストラリアのメアニオング小学校と交流しました。町で初めてとなったこの取り組みでは、児童一人ひとりがお互いに英語と日本語を使い、自己紹介やじゃんけん大会を行うなど、みんないきいきと交流していました。この国際交流は、町英語講師ピーター先生の紹介により実現したものです。平成32年度からは小学5、6年生で本格的に英語が教科となりますので、継続した交流を目指していきます。



### 菅 久さん（横川）が数えで100歳！ おめでとうございます

2月17日、菅久さんが数えで100歳を迎えられ、自宅に家族・親戚の方々が集まる中、高橋町長よりお祝いの品が贈られました。菅さんの長生きの秘訣は、好き嫌いをせずなんでもしっかり食べることや、自室にこもったりせず人と交流することだそうです。家族の皆さんは「元気で長生きできるのはすごいことだと思います。いつも優しく支えてくれるおばあちゃんにとっても感謝しています。これからも元気でいてほしいです」と話してくれました。



### 石山 敏夫氏（元最上町消防団分団長）が 消防功労で『瑞宝単光章』を受章

このたび、平成29年度秋の叙勲で瑞宝単光章を受章した元第五分団長の石山敏夫氏（笹森）の叙勲を祝う会が、3月10日に中央公民館で開催されました。石山氏は、昭和51年に町消防団に入団以来、平成22年の退団まで、実に34年間の長きにわたり消防人としての崇高な理念と使命感のもと、町民の生命と財産を守るためにご尽力されました。特に、平成8年から退団するまでの14年間は分団長として、数多くの火災現場において、的確な指示のもと、迅速な消火活動にあられるなど活躍されました。こうした功績が高く評価された今回の受章、誠におめでとうございます。

